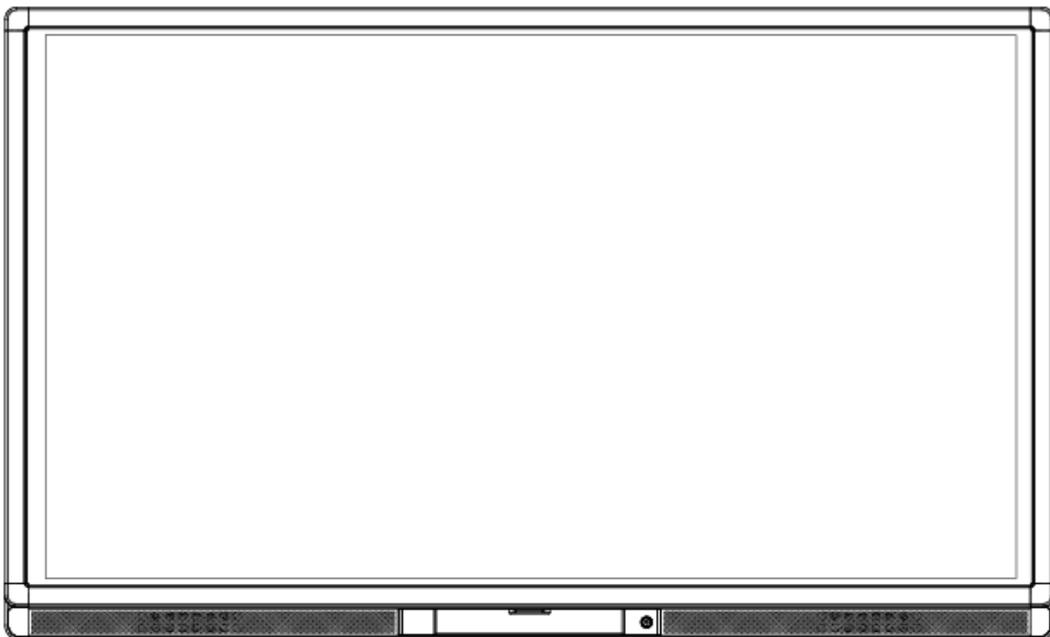


LED インタラクティブ
タッチスクリーン
TT-6516UB/TT-7516UB
取扱説明書



LED インタラクティブタッチスクリーン TT-6516UB/TT-7516UB をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご利用の前に本書を必ずお読みください。

また、本誌は大切に保管をしてください。

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

NOTE 1: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and radiates radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/ TV technician for help.

NOTE 2: Any changes or modifications to this unit not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

本製品を製品寿命などで廃棄する時には、リサイクルに関する法律や条例に従ってください。乾電池や充電電池を他の家庭ゴミと一緒に処分しないでください。乾電池や充電電池は自治体が指定した方法でリサイクルしてください。環境保護にご協力ください。



目次

ご使用の前に	5
1 設置に関して	9
2 製品に関して	11
3 基本操作	19
3.1 電源を入れる	19
3.2 電源を切る	20
3.3 ソフトウェアのインストール	21
3.4 ソフトウェアのアンインストール	21
3.5 キャリブレーション	22
3.6 Windows 8 でのキャリブレーション	22
3.7 OPS (内蔵パソコン) のインストール	24
4 スマートバーに関して	25
4.1 タスクマネージャー	26
4.2 ホワイトボード機能	27
4.3 ギャラリー	30
4.4 ファイルマネージャー	31
4.4.1 ファイルのフィルタリング	32
4.4.2 ファイルの検索	33
4.5 システム設定	33
4.6 ブラウザー	34
4.7 アプリケーションプログラム	34
5 システム設定	36
5.1 ネットワーク	36
5.2 言語と入力方法の設定	39
5.3 日付と時刻	40
5.4 スタンバイ設定	40
5.5 電源オン/オフ設定	41

5.6	スクリーンショット設定.....	42
5.7	プリンター.....	43
5.8	セキュリティ.....	43
5.9	アイプロテクション.....	46
5.10	入力ソース設定.....	46
5.11	背景設定.....	47
5.12	端末情報.....	48
6	入力ソースの切り替え.....	49
7	メニュー.....	50
7.1	音声設定.....	50
7.2	画面設定.....	51
7.3	画像設定.....	52
8	その他機能.....	53
8.1	音声のみの出力.....	53
8.2	温度計および高温での自動シャットダウン機能.....	53
9	エコモード.....	54
10	シリアルポートコントロール.....	55
11	VGA 信号入力.....	58
12	対応ファイル形式.....	59
13	よくあるご質問.....	60
14	お手入れとメンテナンス.....	64
15	製品仕様.....	65
16	最新の情報に関しては.....	67

ご使用の前に

製品を安全にご使用頂くために、ご使用前に下記のインストラクションをご確認ください。誤った製品の使用方法は怪我、事故の元になります。また、感電を避けるためにむやみに分解しないでください。必ず認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。

 WARNING	
	<p>重大な症状が見られた際には必ず本製品の電源を抜いてください。重大な症状には下記が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none">• 発煙、焦げたような匂い、異音などが本製品から発生している。• 画面が映らない、音が出ない、画面にエラーが生じている。 <p>上記の症状が見られた場合には、製品の使用を直ちに中止し、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。</p>
	<p>液体や金属、可燃物を本製品内部に入れないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">• もし、液体や金属などが入ってしまった場合、直ちに電源を切り、コンセントからケーブルを抜き、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。• 製品の使用時に周りに小さな子供がいないか注意してください。
	<p>電源ケーブルにダメージを与えないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">• 電源ケーブルに傷をつけたり、変更したり、ねじったり、曲げたり、過度な力を加えないでください。• 電源ケーブルに製品本体など重いものを載せないでください。• 電源ケーブルを取り外す際に過度な力で引っ張らないでください。もし、電源ケーブルにダメージがある場合は製品の使用を直ちに中止し、コンセントからケーブルを抜いた後に、認定されたサービス担当者にコンタクトしてください。
	<p>製品を安定した平らな場所に設置してください。</p> <ul style="list-style-type: none">• ぐらぐらしたスタンドや机の上など不安定な場所へ設置は製品が倒れるなどして、事故や故障の元となります。
	<p>電池は正しくご使用ください。</p>



WARNING

- 誤った方法で電池を使用すると、液漏れ、腐食、火事などの原因となります。
- 必ず指定された種類の電池をご使用の上、正しい方向に入れてください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 長期間にわたり使用しない場合、電池をリモコンから取り外してください。
- 直射日光の当たる場所や日の近くなど、高熱の場所に電池を放置しないでください。
- 地方の条例等に従い電池を廃棄してください。



本製品を分解、改造しないでください。

本製品の内部は高電圧です。感電の危険がありますので、本製品の検査やメンテナンスの際には必ずサービス担当者にコンタクトしてください。



必ず指定の電源でご使用ください。

- 本製品に付属している電源ケーブルを必ずご使用ください。他のケーブルを使用すると製品の故障や事故の原因となります。
- 付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。
- 必ずアース接続を行ってください。
- 長時間にわたり使用しない場合、本製品の電源を抜いてください。

本製品を移動する場合、必ず全ての外部機器との接続をはずしてください。

製品を移動するにはぶついたり、過度な圧力が加えたりしないように気をつけてください。特にディスプレイ部分にダメージが加わると故障や怪我の原因となります。

定期的に製品のメンテナンスを行い、ホコリなどを取り除いてください。

- クリーニングの際には必ず電源を切って行ってください。
- クリーニングの際には必ず本体の電源ケーブルを抜き、乾いた布で行ってください。



製品の上に物を置かないでください。

- 製品の上に、花瓶や液体など置かないでください。
- 本製品に液体が入ってしまった場合、製品がショートし、火事や感電の原因となります。
- 本製品に乗ったり、物をかけないでください。



本製品を不適切な場所に設置しないでください。

- 浴室など高温多湿の場所、シャワールーム、雨などがかかる可能性のある窓際、室外などに設置しないでください。温泉などの蒸気が当たる場所に製品を設置しないでください。不適切な場所への設置は感電や火事などの事故の元となります。
- 火元の近くに本製品を設置しないでください。また、キャンドルなど火のついた物を製品の近くに置かないでください。



WARNING

	<p>雷の際には本製品をコンセントから外してください。</p> <ul style="list-style-type: none">感電の原因になるため、雷がなっている時には本製品を触らないでください。高圧になる製品は小さな子供が届かない場所に設置してください。
	<p>本製品の通気部分を塞がないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">本製品に使用している部品が高温になり、火事や故障などの原因となります。通気部分を下向きに設置しないでください。カーペットやベットシートなどに製品を設置しないでください。テーブルクロスなどの布で本製品を覆わないでください。
	<ul style="list-style-type: none">濡れた手で電源ケーブルを触らないでください。感電の原因となります。



CAUTION

	<p>本製品を高温の場所に設置しないでください。</p> <ul style="list-style-type: none">ストーブなどの高温が発生する場所の近くなどに本製品を設置しないでください。直射日光が当たる場所へ本製品を設置しないでください。本製品が高温になり、故障の原因となります。
	<p>輸送に際して:</p> <ul style="list-style-type: none">本製品の輸送の際には移動性やメンテナンス性を考慮し、本製品が入っていたカートン及び緩衝材をご使用ください。本製品を移動する際には必ず製品を垂直にして運んでください。間違った方向で運ぶと思わぬ故障の原因となります。
	<p>ラジオや強い電磁波の発生する製品の近くでご使用しないでください。</p> <p>本製品は防磁処理が施されていますが、強い電磁波に影響する可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none">ノイズが発生した際には下記をお試しください。ラジオのアンテナの方向を調整してください。本製品からラジオを離してご使用ください。 <p>ご使用の際に:</p> <ul style="list-style-type: none">目の保護のために、明るい場所で本製品をご使用ください。暗い場所や極端に明るい場所は目にダメージを恐れがあります。長時間視聴後には目を休めてください。

- 画面を見る際には、本製品の設置している高さの3～7倍の距離でのご使用を推奨しております。
- 特に夜などは音量にご注意ください。
- アンプを音声入力のソースとしてご使用の際にはご注意ください。アンプを使用する場合、入力がスピーカーの最大出力を上回らないようにご注意ください。スピーカーの故障などの原因となります。

結露（つゆつき）について：

- 本機を寒い場所から暖かい場所へ移動させた時や、暖房などで室温が急に上がったときなど、本機の表面や内部に結露が起こる場合があります。結露が起きた場合は、結露が無くなるまで電源を入れないでください。故障の原因となります。（結露を防ぐためには、徐々に室温を上げてください）

1 設置に関して

耐荷重に関して

本製品は壁掛けまたはスタンドへの設置の 2 通りの方法で設置を行うことができます。壁掛けは設置スペースを抑えることができます。

スタンドへの設置の場合、指定されたハンガーやホルダーで固定する必要があります。もし、それ以外のハンガーやホルダーを使用する場合、安定した設置環境を確保するために耐荷重が製品質量の 4 倍以上であることを事前にご確認ください。

壁掛けでの設置の場合、設置する壁がコンクリートなど製品質量の 4 倍以上の耐荷重が得られる素材でできていることを事前にご確認ください。木製の壁やデコレーションが施された壁など、十分に強度が保たれない可能性がある場合、専門家にご相談の上、補強を行うなど処理を行ってから設置してください。

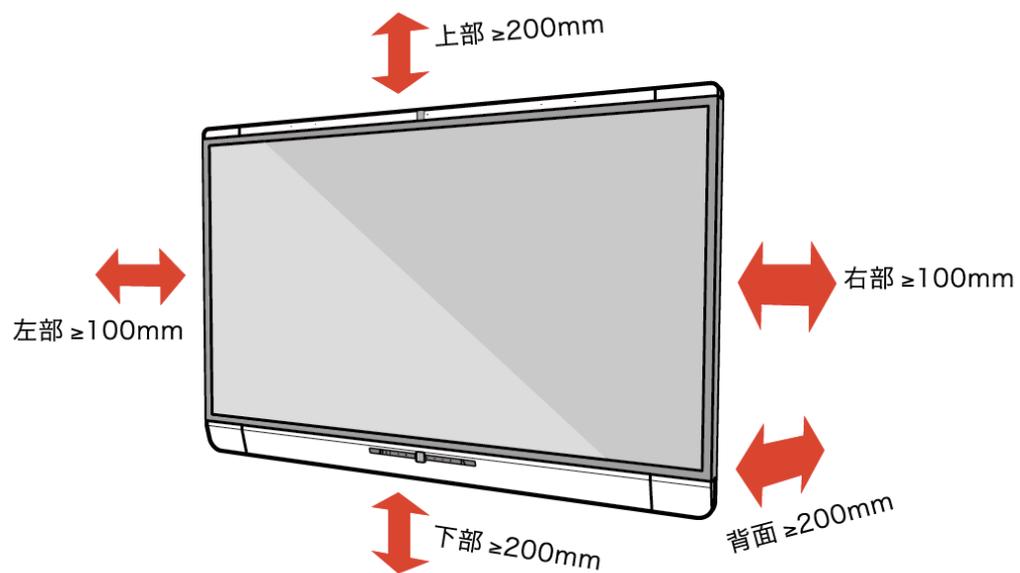
ベンチレーション

設置に必要なスペース (mm)			
左右面	上面	下面	裏面
100	200	200	100



WARNING

壁やキャビネットなどに埋め込んで設置する場合、上下に上記にプラスして 50% のスペースを空けて通気性を確保してください。



 **NOTE**

- 壁へ設置を行う場合には、必ず 10mm 以上の深さまで、壁にボルトを打ってください。
- 製品の通気口を塞いで設置しないでください。
- 詳しくは設置規格 CAS 132-2006 を参照してください。
- 設置は必ず専門業者にて行ってください。

2 製品に関して

Newline Interactive 製タッチスクリーンをお買い上げ頂きましてありがとうございます。本製品はインタラクティブな教育やデモンストレーション、マルチメディアを使用したプレゼンテーションなど様々な用途にご使用いただけるタッチスクリーンです。教育分野や法人分野など様々な分野で活躍できる本製品は、ユーザーフレンドリーな操作方法でデジタルインテリジェントコントロールを行うことができる理想的なデバイスです。指やペンなどを使用して、手書き入力を行うことができ、スクリーン上のあらゆるものの編集などを行うことができます。

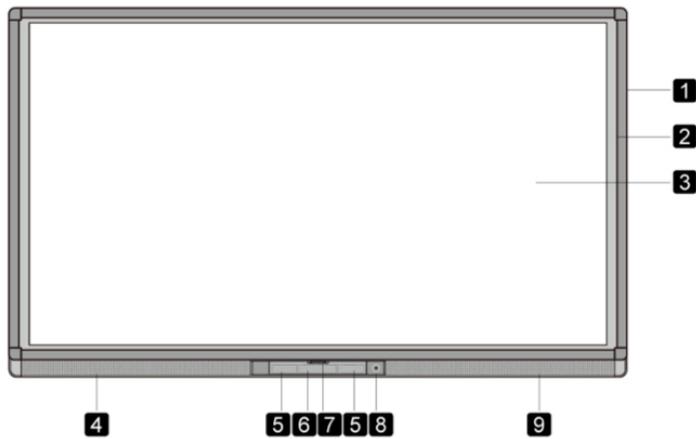
本製品の特長:

- 教育分野及びミーティングの目的のために設計されたデザイン
- 最先端の IR アレイによるセンシング技術を採用。HID ドライバーが不要な機構設計で、電源を入れてすぐに使い始めることができます。
- 多彩なインターフェイスを搭載。複数の入力ソースからスクリーン上のプレビュー画面でタッチ操作による切り替えが可能
- 明るさ自動調整機能を搭載。最大 50% の消費電力削減が可能
- フロントに大出力スピーカーを搭載。
- 消費エネルギー削減のため、音楽視聴時などにスクリーンのみをオフにすることが可能
- 周囲の明るさなどにより、スクリーンのバックライトを自動調整し、生徒や先生にもっとも快適な明るさに調整

各部名称

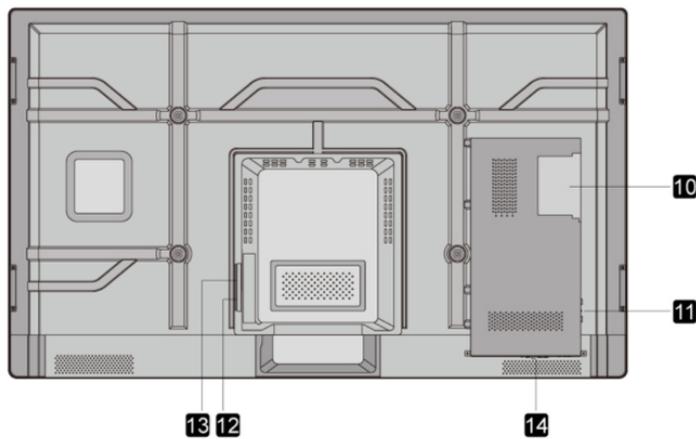
製品本体の前面及び背面の各部名称は下記の通りです。

前面

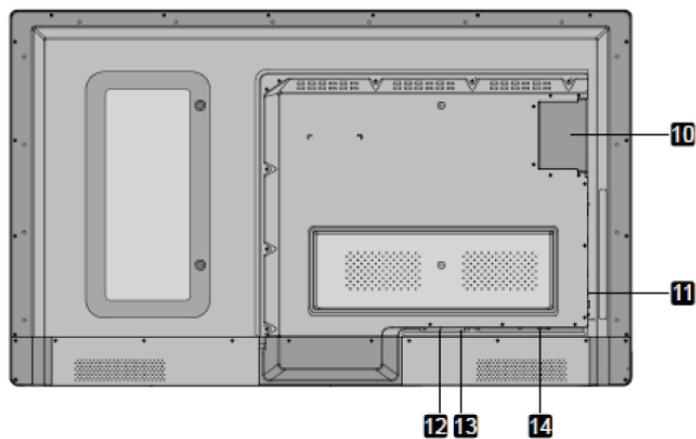


- 1 製品本体
- 2 IRセンサー
- 3 スクリーン
- 4 左スピーカー
- 5 外部機器接続用パネル1
- 6 コントロールパネル
- 7 フロントカバー (オプション)
- 8 電源スイッチ
- 9 右スピーカー
- 10 OPSスロット
- 11 外部機器接続用パネル2
- 12 主電源スイッチ
- 13 AC電源
- 14 外部機器接続用パネル3

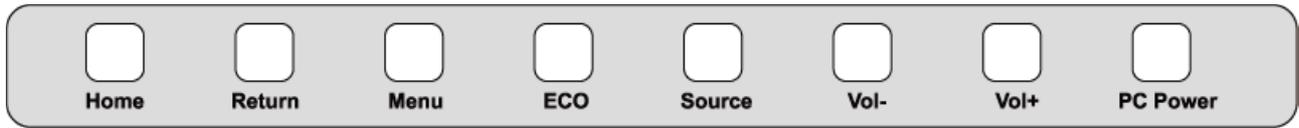
背面 (TT-7516UB)



背面 (TT-6516UB)

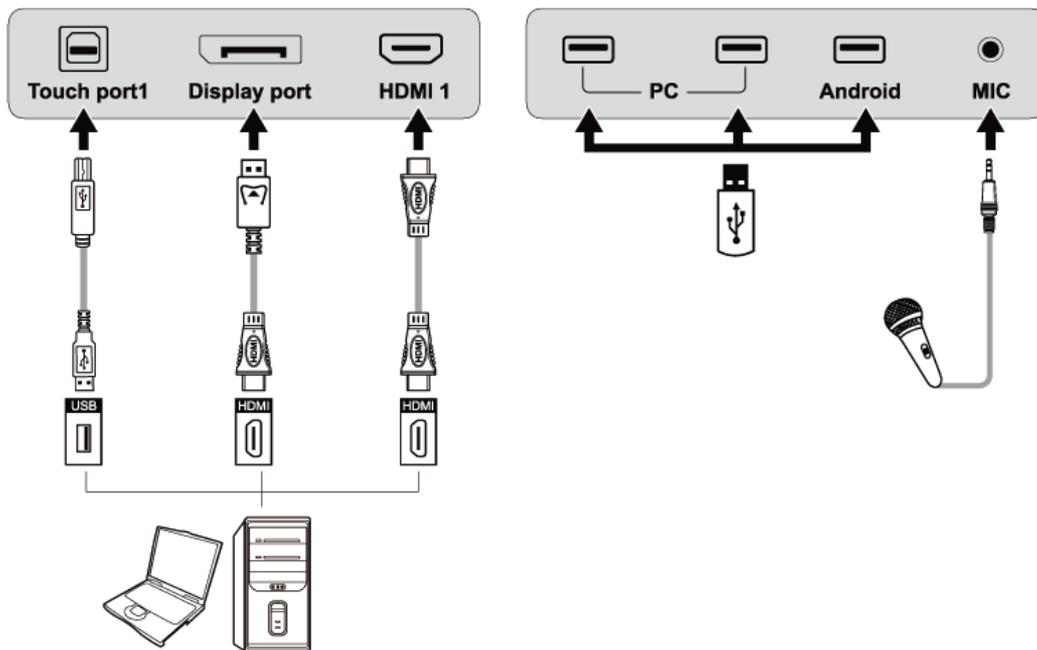


コントロールパネル



名称	機能
Home	Android システムのホーム画面に戻る
Return	一つ前のメニューに戻る
Menu	機能メニューの表示
ECO	エコ、自動、標準の 3 つのモードで切り替え
Source	入力ソースの切り替え
Vol-	音量を下げる
Vol+	音量を上げる
PC Power	OPS の電源のオン/オフ

外部機器用接続パネル 1

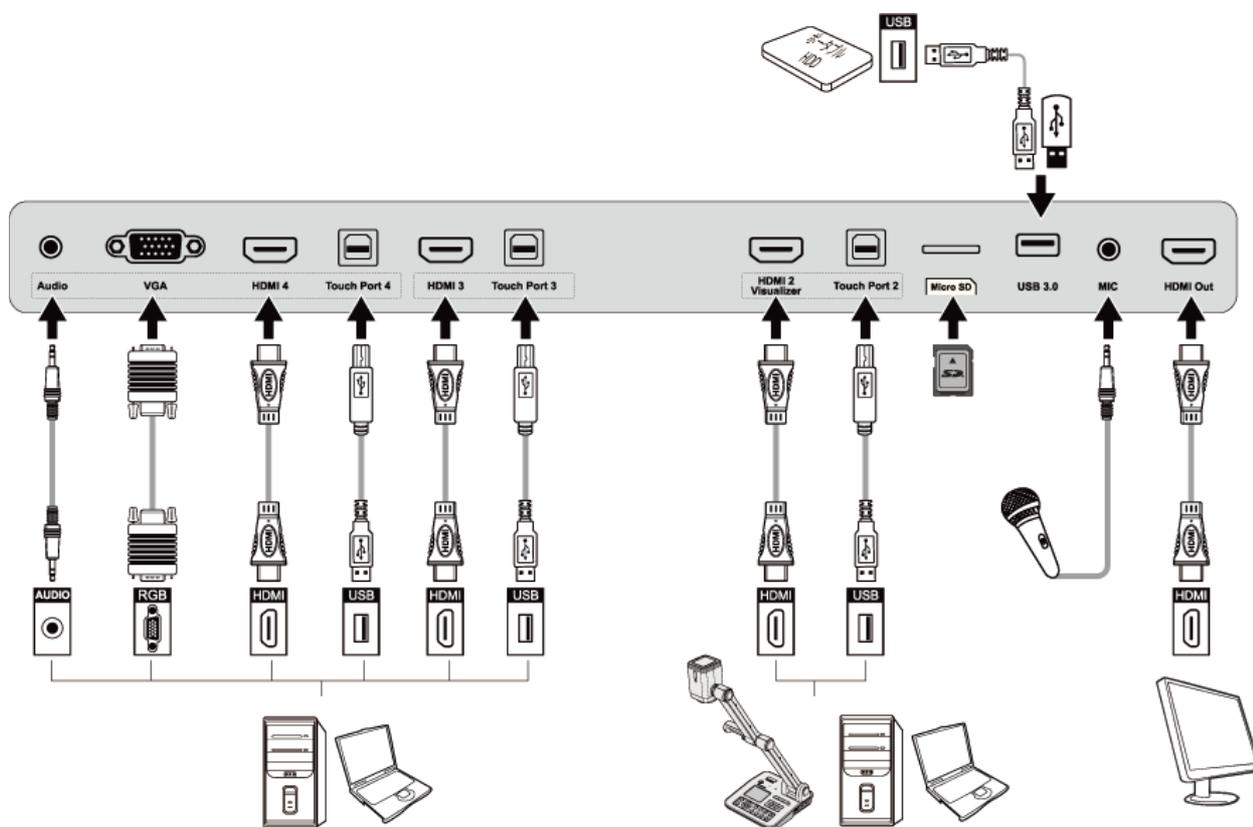


名称	用途
Touch Port 1	ノートパソコンなどを接続し機器のタッチコントロールに使用
Display Port	HD デジタルディスプレイポート
HDMI 1	ノートパソコンなどの画像を高画質に入力。Touch Port 1 と併用して、パソコンのタッチコントロールが可能。
PC	内蔵パソコン(OPS)用 USB2.0 ポート (5V/0.5A) 及び USB3.0 ポート (5V/0.9A)
Android	Android 用 USB ポート
MIC	外付けマイク接続用ポート

 **NOTE**

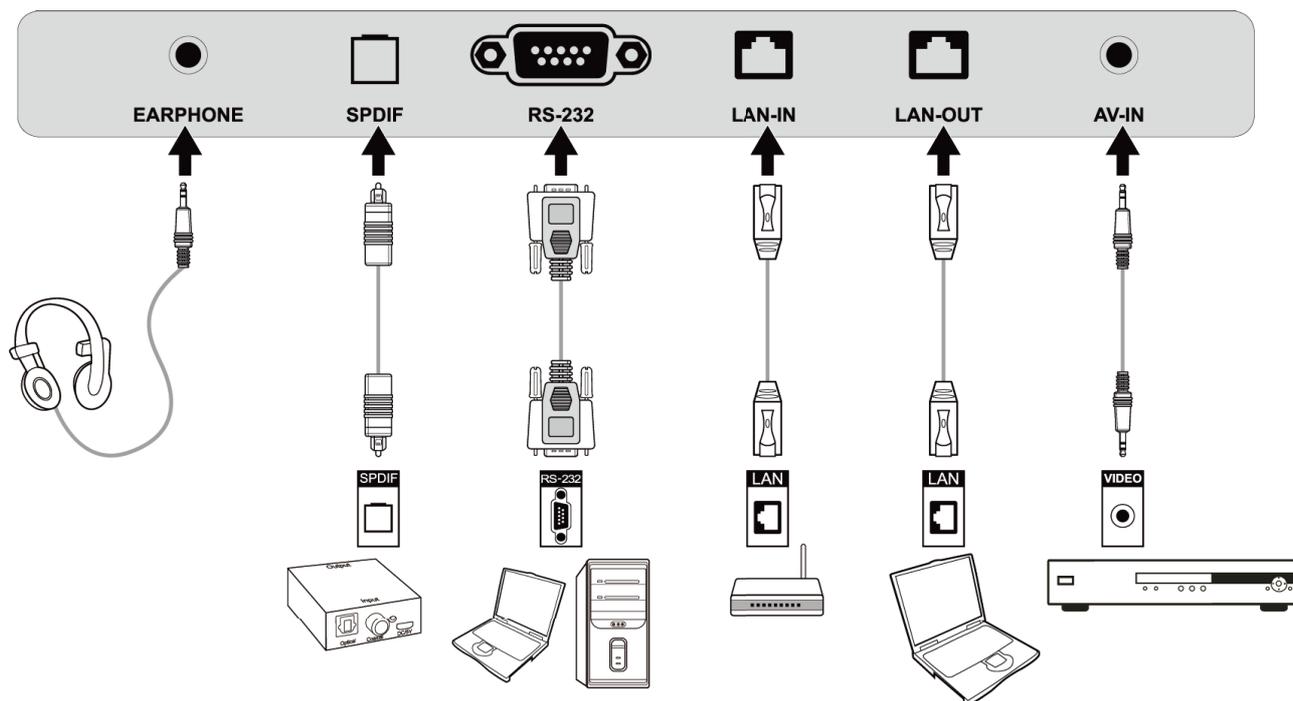
Touch Port 1 は HDMI 1 ポートに対応。Touch Port 2 は HDMI 2 ポートに、Touch Port 3 ポートは HDMI 3 ポートに、Touch Port 4 は HDMI 4 および VGA に対応しております。

外部機器用接続パネル 2



名称	用途
Audio	音声入力用ポート
VGA	ノート PC などを接続するための VGA ポート。Touch Port 4 と併用することで、接続したパソコンのタッチコントロールが可能。
HDMI 4	Touch Port 4 と併用して、ノートパソコンなどの画像を高画質で入力
Touch Port 4	HDMI 4 または VGA と併用してのノートパソコンなどを接続してのタッチコントロール用
HDMI 3	Touch Port 3 と併用して、ノートパソコンなどの画像を高画質で入力
Touch Port 3	HDMI 3 と併用してのノートパソコンなどを接続してのタッチコントロール用
HDMI 2 Visualizer	Touch Port 2 と併用してのノートパソコンなどの画像の高画質での入力、または、書画カメラをタッチコントロールするために使用。 Note: タッチスクリーン上での書画カメラのコントロールを行うためには、 HDMI 2 Visualizer ポートを必ずご使用ください。
Touch Port 2	HDMI 2 と併用してのノートパソコンなどを接続してのタッチコントロール用
Micro SD	Micro SD カード用スロット
USB 3.0	USB 3.0 用ポート
MIC	外付けマイク接続用ポート
HDMI Out	他のディスプレイへの高画質出力用 HDMI 出力ポート

外部機器用接続パネル 3



名称	用途
EARPHONE	イヤフォン接続用端子
SPDIF	音声デジタル出力用端子
RS-232	シリアル信号用入力端子。コントロールデバイスを接続してシリアルポートプロトコルでタッチスクリーンの操作が可能
LAN-IN	ローカルエリアネットワーク用入力端子
LAN-OUT	ローカルエリアネットワーク用出力端子
AV-IN	音声及び映像信号用入力端子

NOTE

- 接続には製品に同梱されているケーブルをご使用ください。
- HDMI 1、HDMI 2、HDMI 3 及び HDMI 4 は HD 接続用のマルチメディアポートです。映像のみではなく、音声もホームシアターなどのようにデジタルの HD 音質で楽しむことができます。接続する機器に HDMI 端子が搭載されている場合、HDMI 接続をお勧めいたします。

リモートコントロール各種機能

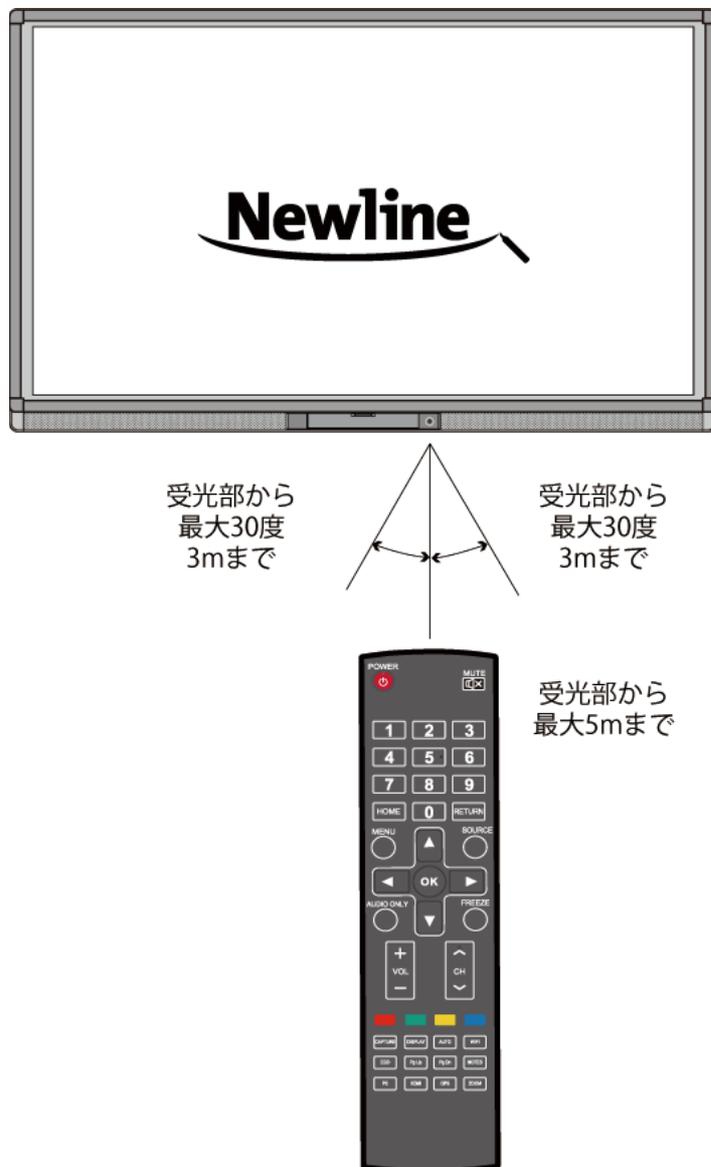
	電源のオン/スタンバイ
	ミュート
0-9	数字の入力
HOME	ホーム画面に戻る
RETURN	一つ前の操作に戻る、 または機能のメインに戻る
MENU 	メニュー画面の表示/非表示
SOURCE 	入力ソース切り替え画面の 表示/非表示
AUDIO ONLY 	スクリーンのみオフにする
FREEZE 	画面のフリーズ
OK 	OK
	方向ボタン (上)
	方向ボタン (下)
	方向ボタン (左)
	方向ボタン (右)
CAPTURE	画面のキャプチャー
DISPLAY	現在の入力信号を表示 (Androidシステム時には使用不可)
AUTO	画面の調整
WIFI	本製品では使用いたしません
ECO	ディスプレイモードを変更
Pg Up	ホワイトボードやPPTで 一つ前のページに戻る

Pg Dn	ホワイトボードやPPTで 一つ先のページに進む
NOTES	ホワイトボードの起動
PC	VGA入力信号へ切り替え
HDMI	HDMI入力信号へ切り替え
OPS	OPSへ切り替え
ZOOM	ズームイン/アウト



リモコンでの操作に関して

リモコンは本体正面から最大約 5 メートル、リモコン信号受光口から上下左右 30 度の範囲でご使用いただけます。



WARNING

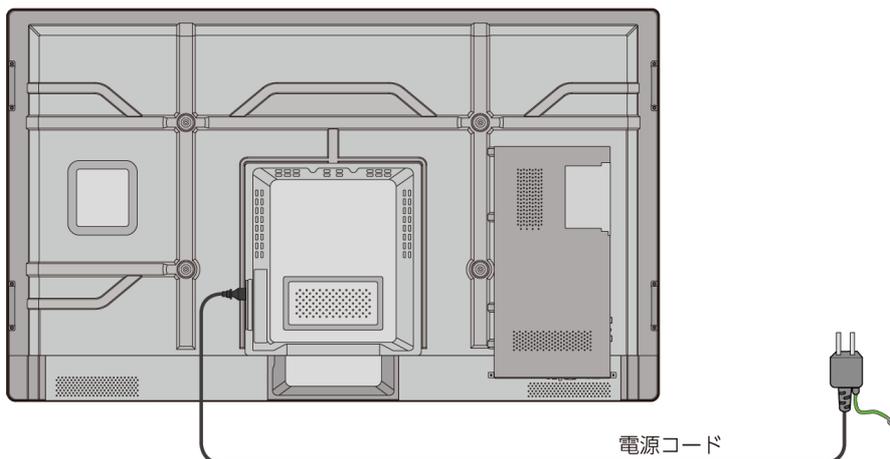
事故などの防止のために、下記の点をよくご確認の上、リモコンをご使用ください。

- リモコンを落下させたり強い衝撃を与えないでください。
 - 液体をこぼさないでください。
 - 濡れた表面にリモコンを置かないでください。
 - 直射日光や高音の場所に放置しないでください。
-

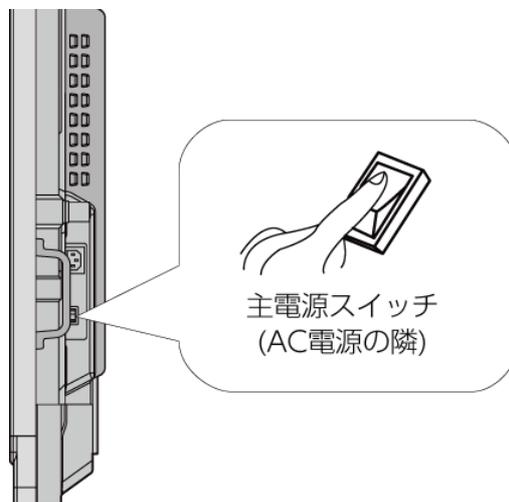
3 基本操作

3.1 電源を入れる

Step 1 100V 50/60Hz の AC 電源に本製品を接続してください。プラグをしっかりと根元まで挿入し、必ずアース接続を行ってください。



Step 2 背面左側の AC 電源の隣にある主電源スイッチを入れて、スタンバイ状態にしてください。パワーインジケータが赤色に点灯します。



Step 3 コントロールパネルの電源ボタン、またはリモコンの電源ボタンを押してタッチスクリーンの電源をオンにします。OPS 電源連動を設定している場合、OPS（接続している場合）が起動し、インジケータが緑色に点灯します。



電源スイッチ
(全面コントロールパネル上)

3.2 電源を切る

Step 1 (OPS を内蔵しているモデルの場合) PC Power を押して OPS の電源を切ってください。



Step 2 コントロールパネルの電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを押してスタンバイ状態にしてください。インジケータが赤色に変わります。

Step 3 スタンバイ状態時に製品背面の主電源を切ってください。



WARNING

- タッチスクリーンの電源を切る前に、必ず OPS の電源を切ってください。
- タッチスクリーンがスタンバイ状態に入ってから主電源のスイッチを切ってください。突然主電源を切ると製品の故障の原因となります。
- 短い時間での電源のオン・オフは故障の原因となります。

パワーインジケータの詳細は下記の通りです。:

パワーインジケータ	状態
点灯無し	電源オフ
赤	スタンバイ状態
緑	電源オン

3.3 ソフトウェアのインストール

- 推奨環境:
 - CPU: Inter (R) Core i3 2.27GHz 以上または AMD の同等の性能を持つ CPU
 - メモリー: 1GB 以上
 - ハードディスク: 1GB 以上の空き容量
 - グラフィックカード: DirectX 9 以上をサポートしてること
- すでに OPS に最新の手書きソフトウェアがプリインストールされている場合、この手順はスキップしてください。
- HID のドライバーのインストールが不要な OS は Windows 7 及びそれ以降の Windows の OS です。(マルチタッチ機能をサポート) タッチスクリーンとパソコンを付属の USB ケーブルで接続してください。

Step 1 付属の USB ケーブルで、タッチスクリーンの USB ポートとパソコンとを接続してください。

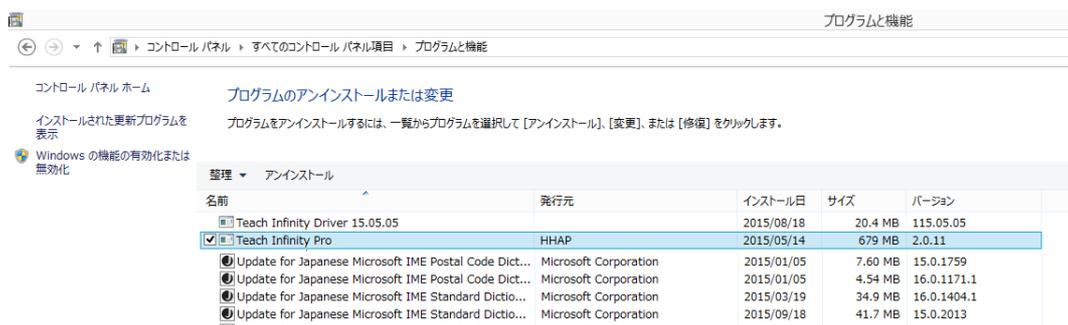
Step 2 パソコンに付属の CD-ROM を挿入してください。

Step 3  Application.exe をダブルクリックして、インストラクションに従いソフトウェアのインストールを完了させてください。

Step 4 インストール完了後にパソコンを再起動が必要となります。ファイルを保存して再起動してください。

3.4 ソフトウェアのアンインストール

ソフトウェアをアンインストールする場合、コントロールパネルを開き、「プログラムの追加と削除」→「Teach Infinity Pro」→「アンインストール」と進み、プログラムをアンインストールさせてください。下図を参照してください。



3.5 キャリブレーション

実際にタッチしているポイントと、カーソルの表示箇所がずれている場合、キャリブレーションを行ってください。キャリブレーションを行うには、次の場合などにキャリブレーションを行う必要があります。:

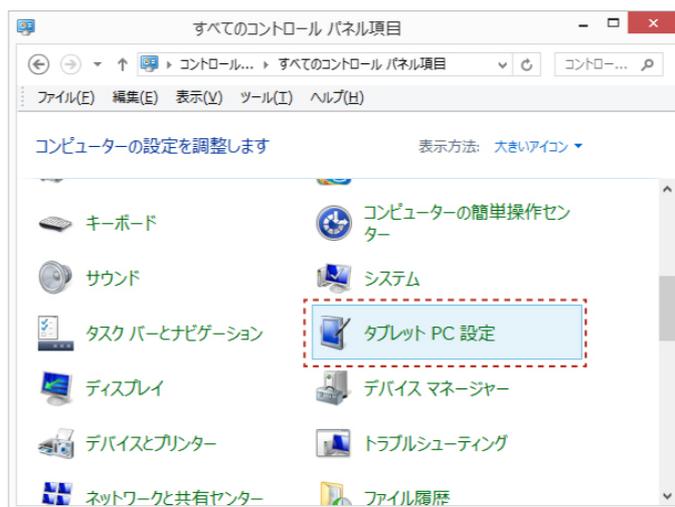
- タッチスクリーンを初めて使用する場合
- ドライバーを再インストールした際
- タッチスクリーンを他のパソコンに接続している場合

タッチスクリーンは 9 点方式のキャリブレーションを行います。下記の方法に従ってください。

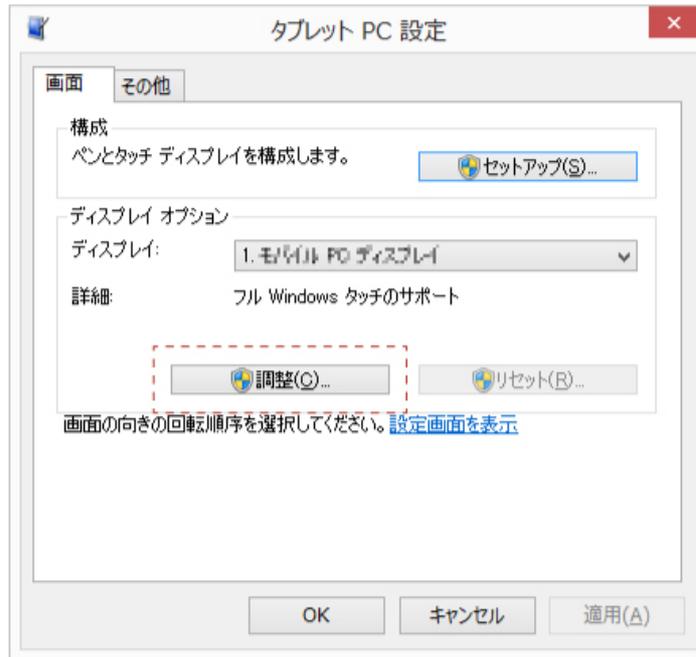
3.6 Windows 8 でのキャリブレーション

Step 1 本製品を付属の USB ケーブルでパソコンと接続してください。

Step 2 コントロールパネルから「タブレット PC 設定」を選択してください。



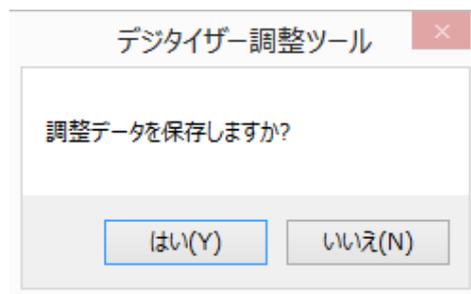
Step 3 タブレット PC 設定ウィンドウから「調整」を選択してください。



Step 4 専用ペンを使用して、点滅している十字の中心部をクリックしてください。十字がポジションに移動するまで、押し続けてください。インストラクションに従って、キャリブレーションを完了させてください。



Step 5 「はい」 をクリックしてキャリブレーションを終了します。



 **TIP**

- 手書きの精度の向上のためにキャリブレーションには付属のペンのご使用をお勧めいたします。
- キャリブレーションのエラーによりタッチスクリーンが通常通り動作しない場合、再度キャリブレーションを行ってください。
- キャリブレーションの際にキーボードのエスケープキー「ESC」で作業を中断することができます。
- OS のバージョンなどにより、キャリブレーションの画面は図とは異なる場合がございます。

3.7 OPS（内蔵パソコン）のインストール

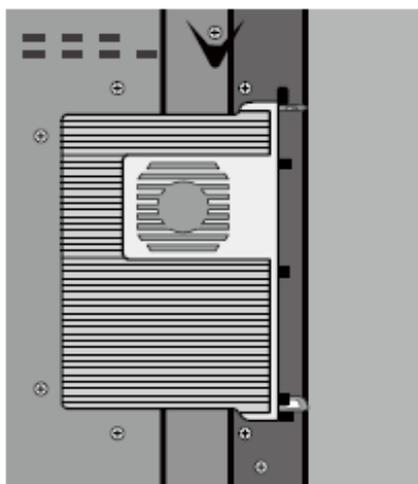


WARNING

OPS はホットプラグには対応していません。タッチパネル本体の電源が完全にオフになっている状態で接続してください。

OPS のインストールを以下の手順通り行ってください。:

- Step 1** タッチスクリーンの背面にある OPS スロットに OPS を接続します。
- Step 2** OPS をタッチスクリーンにねじ止めします
- Step 3** OPS に付属のアンテナを取り付けます。(アンテナが付属している場合)
- Step 4** OPS が正常通りに接続されているか確認します。



4 スマートバーに関して

スマートバー（ツールバー）はホーム画面モード、ホワイトボードモード、注釈モードの3つのモードから成り立っています。

どのモード時でも ← を押すと一つ前のページに戻ります。🏠 をクリックすると、現在使用しているのプログラムからホーム画面に戻ります。

- ホーム画面ではホーム画面モードとなり、「タスクマネージャー」「入力ソース」「ホワイトボード」、「入力信号」「ファイルマネージャー」、「システム設定」、「ブラウザー」、「検索」のアイコンが現れます。これらアイコンをクリックして使用したい機能を起動することができます。



- ホワイトボードプログラムを起動後、ツールバーもホワイトボードモードに変わります。ペンの変更や、線の太さ、色などを変更することができます。

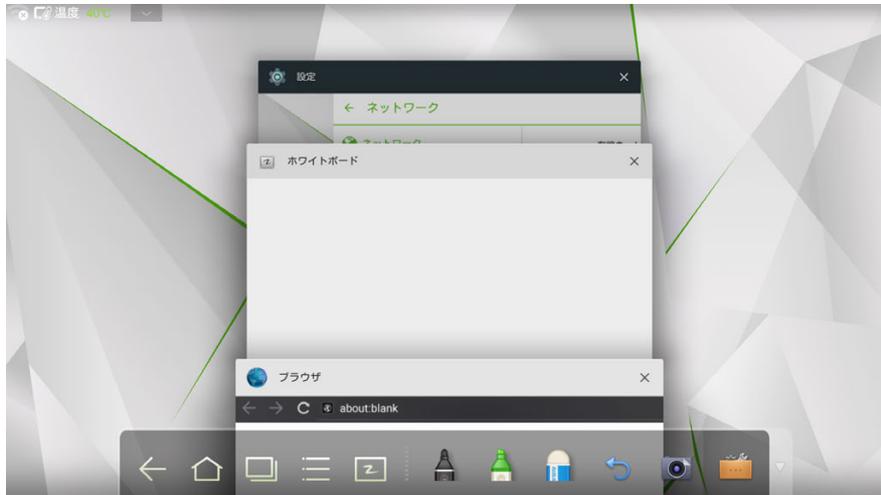


- ホワイトボード以外のプログラム使用時には「注釈モード」に切り替わります。「ペン」、「線の太さ」、「色」などを選択して閲覧している画像やパワーポイント、PDFなどのファイルの上に注釈などを追加することができます。右端の ▼ をクリックすることによりスマートバーを隠すことができます。再度表示するためには画面の下際から指で画面を上をスワイプします。



4.1 タスクマネージャー

タスクマネージャーでは、起動中のプログラムの確認、切り替え、終了などを行うことができます。☐をクリックしてタスクマネージャーを起動します。



起動中のプログラムの閲覧

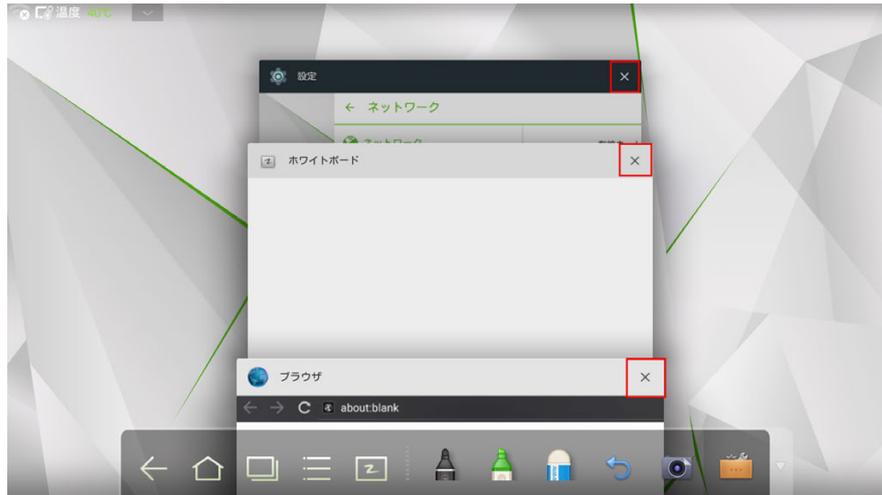
上下にスクロールすることにより、起動しているプログラムを閲覧することができます。

プログラムの切り替え

タスクマネージャーで切り替えたいプログラムのアイコンをクリックします。例えば、ギャラリーをクリックするとギャラリーのアプリケーションに切り替わります。

プログラムを終了する

タスクマネージャーでプログラムを選択し、右上にある✕のアイコンをクリック、または、プログラムを右から左にスワイプすることにより、プログラムを終了することができます。

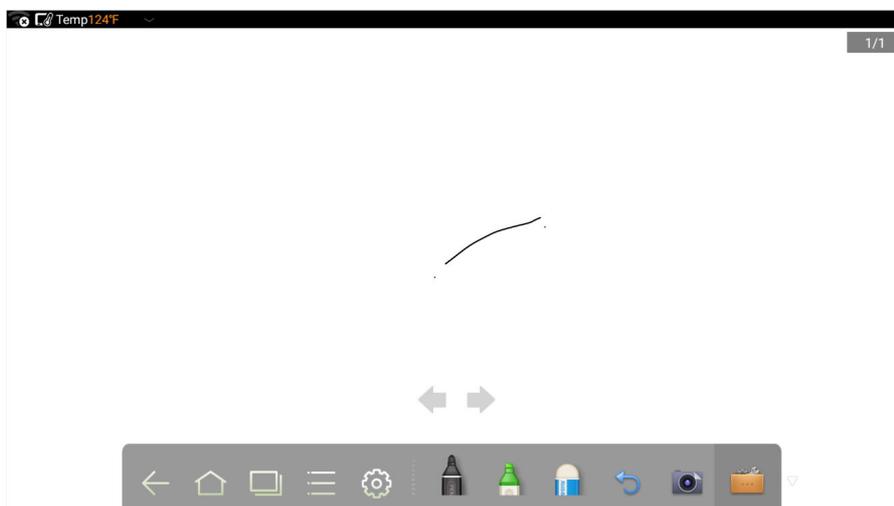


4.2 ホワイトボード機能

ホワイトボード機能は手書きコメントなどを書き込むことができます。このプログラムではペンや線の太さ、色などを設定することができ、消しゴムを使用して書き込んだ内容を消すこともできます。印刷や一括削除なども行うことができます。

スマートバー上のアイコン  をクリック、または、リモコンの NOTES ボタン

を押してホワイトボードを起動します。:



新しいページの作成と設定

 のアイコンをクリックして、「新しいページの作成」、「全ページを表示」、「全て削除」、「設定」などを選択することができます。



「設定」をクリックするとホワイトボードの背景色やパターンを変更することができます。:



ペン種、線の太さ、ペンの色の変更

ペンが選択されている場合、ペンアイコン  を2秒以上押し続けることでオプションがポップアップで表示され、色と線の太さを変更することができます。



ハイライター（蛍光ペン）が選択されている場合、ハイライターのアイコン  を2秒以上押し続けることで、オプションがポップアップで表示され、色と線の太さを変更することができます。



消しゴム

手書き入力をした物の一部を消すには以下の 2 通りの方法があります。:

- 消しゴムアイコン  をクリックしてホワイトボードの手書きデータを削除します。
- 指 5 本同時にスクリーンをタッチすることにより、点線で作られた円が現れ、円を動かし囲まれた部分の手書きデータを削除することができます。



キャンセル

キャンセルアイコン  をクリックし、一つ前の動作をキャンセルします。

スクリーンキャプチャー

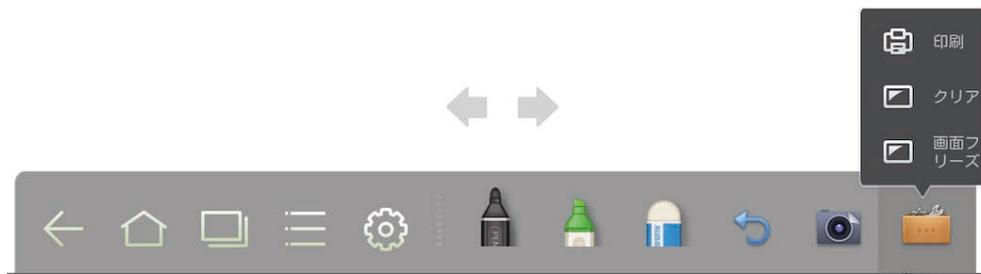
スクリーンのキャプチャーを以下の方法で行うことができます。:

- キャプチャーアイコン  をクリックしてホワイトボードの内容をキャプチャーし、データが Screenshots のフォルダーにコピーされます。(スマートバーはキャプチャー時に隠れます)
- リモコンの「Capture」ボタンでのキャプチャー操作の場合、「Pictures」の「Screenshot」フォルダーに画像が保存されます。
- ディレクトリーを開くには以下の 2 通りの方法があります。
ホーム画面に戻り、スマートバー上のファイルマネージャーアイコンの  をクリックし、**Screenshots** フォルダーを開きます。

画像の閲覧が可能なアプリケーションプログラム  を起動し、**Screenshots** フォルダーを選択します。

印刷およびクリア

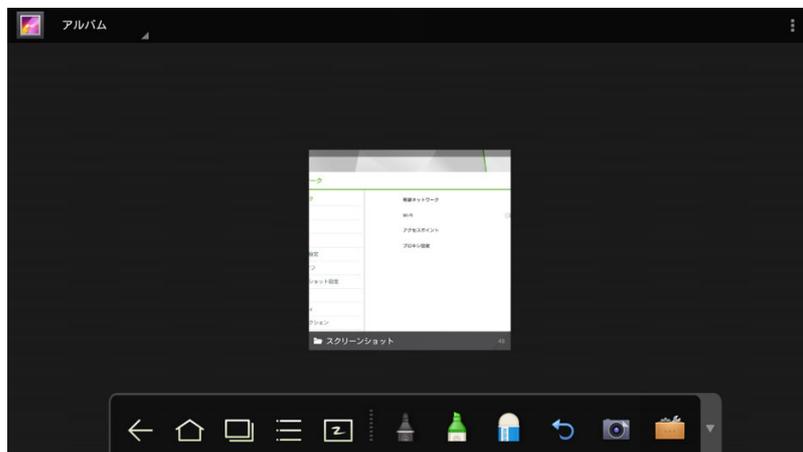
スマートバー上のアイコン  をクリックすると「印刷」、「クリア」、「画面フリーズ」が表示されます。「印刷」をクリックすると、現在ホワイトボードに表示されている内容が印刷されます。「クリア」をクリックすると現在のホワイトボードに表示されている手書きデータが全て消去されます。「画面フリーズ」をクリックすると、画面がキャプチャーされ、キャプチャーされた画面が静止画となり画面に表示されます。



4.3 ギャラリー

ギャラリーでは保存している画像を一枚ずつ、またはスライドショーとして閲覧することが可能です。

アプリケーションプログラムからアイコン  をクリックしてギャラリーを起動します。イメージファイルを含んだ全てのフォルダーが表示されます。



- プレビュー表示

プレビュー表示では最大 8 枚までの画像を表示することができます。左右にスワイプすることで、次の画像（または前の画像）へ切り替えることができます。画像を長押しすると、複数の画像を選択することができ、右上にあるアイコン  をクリックすると、編集、シェア、削除、詳細情報の確認などを行うことができます。



- 画像を一枚ずつ閲覧する
フォルダーに保存されている画像をクリックします。左にスワイプすると前の画像に、右にスワイプすると次の画像に移動できます。
- スライドショー
フォルダーの右上部分のアイコン  をクリックするとスライドショーを選択することができます。



4.4 ファイルマネージャー

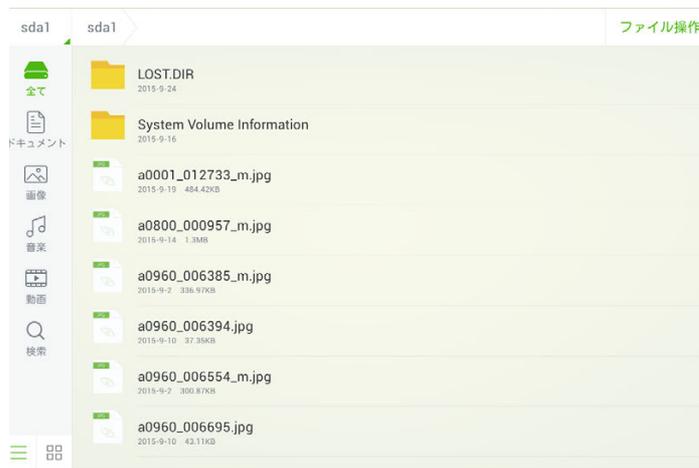
ツールバー上のアイコン  をクリックすると、ファイルマネージャーが起動し、システムファイルおよびSDカードやUSBフラッシュメモリーなどの外部メモリーに保存されているファイルが表示されます。ファイルマネージャーでは、プレビュー、フィルタリング、検索、選択、コピー、ファイルの削除などを行うことができます。



- システムファイルプレビュー



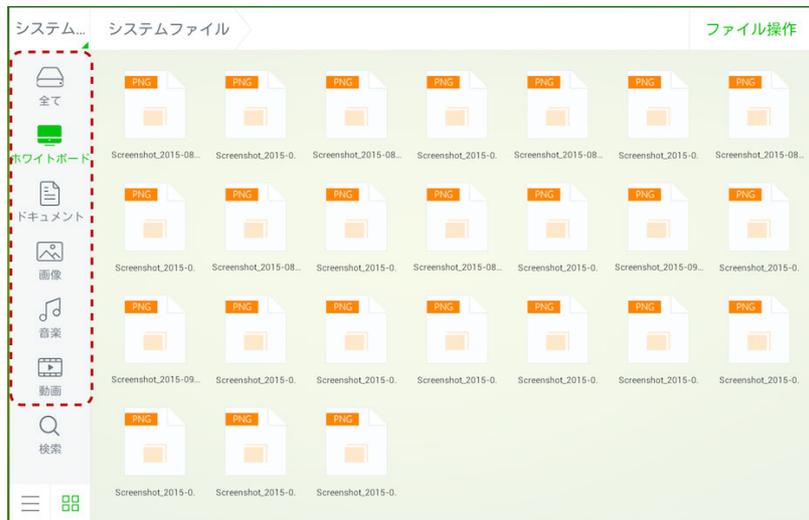
- 外部メモリのファイルプレビュー



4.4.1 ファイルのフィルタリング

ファイルプレビュー機能ではドキュメント、画像、音声、動画の各データをカテゴリー別に表示することができます。次ページ図の赤枠内ツールバー左部分のアイコンをクリックしてください。

ファイル表示にはリスト表示およびサムネイル表示の2通りの方法があります。ツールバー左下の  または  で表示方法を切り替えることができます。:



4.4.2 ファイルの検索

検索アイコンをクリックして検索ボックスにファイル名のキーワードを入れることで、キーワードにマッチしたファイル名がリスト表示されます。



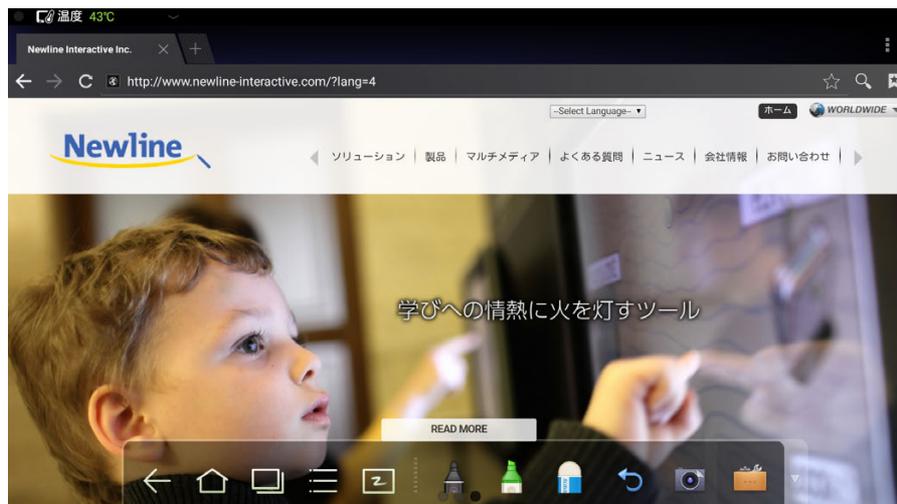
4.5 システム設定

スマートバーのアイコン  をクリックすると「システム設定」が起動します。システム設定ではネットワーク、言語と入力方法、日付と時刻、電源オン/オフ設定、などの各種設定を行うことができます。システム設定に関する詳細は次章「システム設定」を参照してください。



4.6 ブラウザー

スマートバーのブラウザーアイコン  をクリックして、Web ブラウザーを立ち上げてください。リモコンまたはソフトウェアキーボードを使用して、アドレスバーの URL を入力または、検索ボックスにキーワードを入力してください。



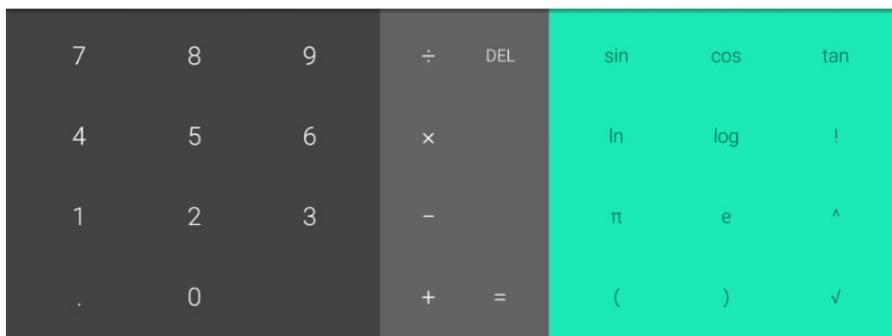
4.7 アプリケーションプログラム

スマートバーのアイコン  をクリックして、アプリケーションプログラムページを表示してください。Android システムのすべてのアプリケーションプログラムが表示されます。画面を左右にスワイプして次のページに移動できます。:



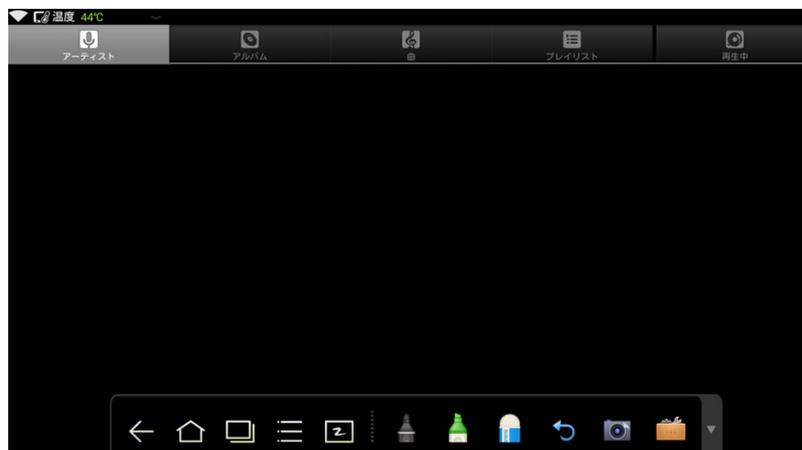
計算機

アイコン  をクリックして計算機を立ち上げます。画面のタッチで計算機を操作します。



音楽

アイコン  をクリックすると音楽の再生を行うことができます。ローカルメモリー内の音楽をアーティスト別、アルバム別、曲名、プレイリスト別、再生中から選んで再生することができます。



5 システム設定

本章ではスマートバーから起動可能なシステム設定の詳細を説明します。システム設定の起動方法は前章 4.5 を参照してください。:

5.1 ネットワーク

システム設定画面で「ネットワーク」をクリックすると、有線ネットワーク、Wi-Fi 設定、アクセスポイント、プロキシ設定などの設定を行うことができます。接続するネットワーク方法を選択して、設定を行ってください。



有線ネットワーク

「IP アドレスを自動的に取得」にチェックマークが入っていて、かつ有線 LAN で接続され、DHCP がサポートされている場合、システムは自動的に IP を設定します。

← 有線ネットワーク->有線ネットワーク

ネットワーク

- アプリ
- 言語と入力
- 日付と時刻
- スタンバイ設定
- 電源オン/オフ
- スクリーンショット設定
- プリンター
- セキュリティ
- アイプロテクション

IPアドレスを自動的に取得
 固定IPアドレス

適用する 戻る

手動でネットワークを設定する必要がある場合、「固定 IP アドレス」にチェックマークを入れて IP アドレスなどの各種パラメーターをソフトウェアキーボードまたはリモコンを使用して入力してください。

← 有線ネットワーク->有線ネットワーク

ネットワーク

- アプリ
- 言語と入力
- 日付と時刻
- スタンバイ設定
- 電源オン/オフ
- スクリーンショット設定
- プリンター
- セキュリティ
- アイプロテクション

IPアドレスを自動的に取得
 固定IPアドレス

IP Address:	192.168.1.128
ゲートウェイ	192.168.1.1
プレフィックス長	24
DNS 1	8.8.8.8
DNS 2	8.8.4.4

適用する 戻る

Wi-Fi 設定

Android システム用の USB ポートに外付けの Wi-Fi カードが接続されている場合、Wi-Fi にアクセスすることができます。システムは自動的に接続可能な無線ネットワークを検出します。接続するアクセスポイントをリストから選択してください。

← 有線ネットワーク->Wi-Fi

ネットワーク

- アプリ
- 言語と入力
- 日付と時刻
- スタンバイ設定
- 電源オン/オフ
- スクリーンショット設定

Guest 1
接続済み

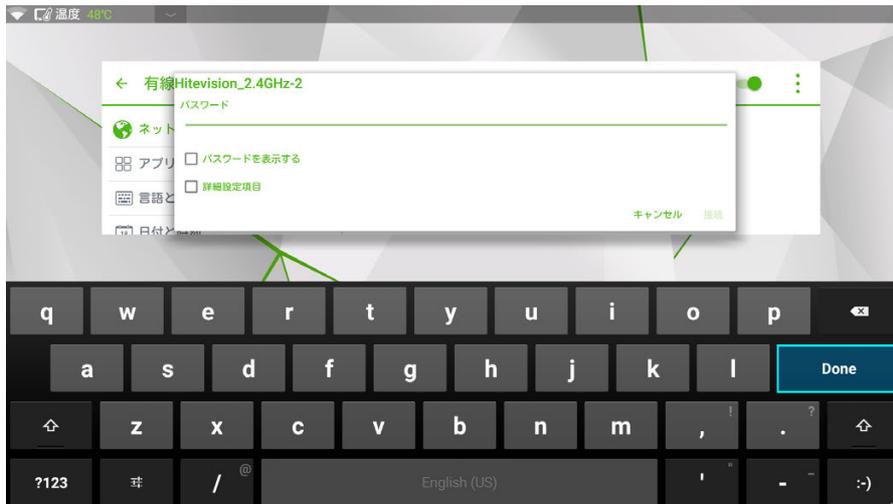
Guest 2
保存済み

Guest 3

Guest 4

Guest 5

W-Fi ネットワークの認証が終了後、パスワードの入力が必要となります。ソフトウェアキーボードを使用してパスワードの入力を行ってください。



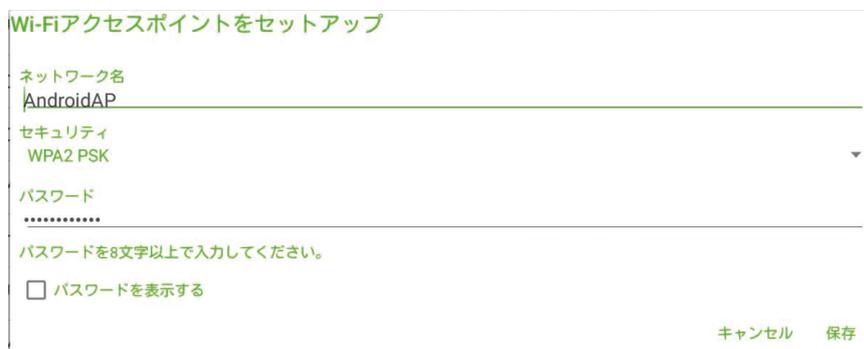
アクセスポイント設定

Android システム用の USB ポートに外付けの Wi-Fi ドングルが接続されている場合、Wi-Fi アクセスポイントとして使用することができます。Wi-Fi アクセスポイントとして使用する場合、以下の手順を行ってください。

- ネットワークからアクセスポイントを選択し、Wi-Fi アクセスポイントを On にしてください。



- ネットワーク名やパスワードを変更したい場合、「Wi-Fi アクセスポイントをセットアップ」をクリックして設定画面を開き、設定を行ってください。

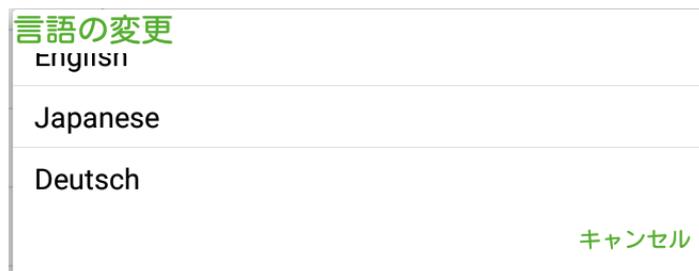


5.2 言語と入力方法の設定

「言語と入力」(Language & Input)をクリックし、設定を行ってください。



言語を押して、日本語(Japanese)を選択してください。



「キーボードと入力方法」をクリックしてお好みの入力方法を選択してください。

日本語での入力を行う場合、「Google 日本語入力」を選択してください。



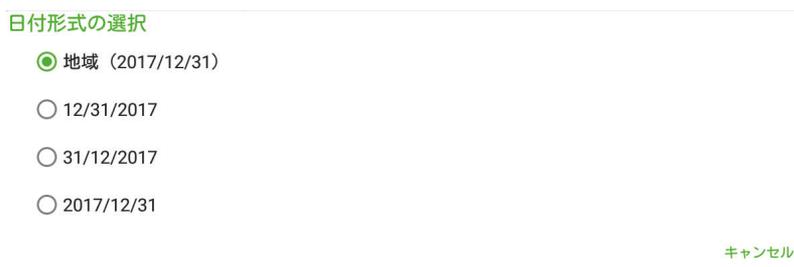
5.3 日付と時刻

日付や時刻を変更する場合、設定画面から「日付と時刻」を選択します。

- 「日付と時刻の自動設定」にチェックマークを入れると、自動的にネットワークから提供された時刻が表示され、手動での調整は不要となります。



- 設定メニューから時刻および日付の表示形式を変更することができます。



- 「日付と時刻の自動設定」を解除すると、タイムゾーン、日付、時刻の設定を手動で行うことができます。

5.4 スタンバイ設定

一定時間、タッチ操作がない時に自動的にスタンバイモードに移行させる場合、設定メニューより、スタンバイ設定を選択し、スタンバイまでの時間を設定してください。「オフ」を選択すると解除されます。



5.5 電源オン/オフ設定

設定画面より「電源オン/オフ」を選択すると、自動電源オン/オフ設定などの設定を行うことができます。

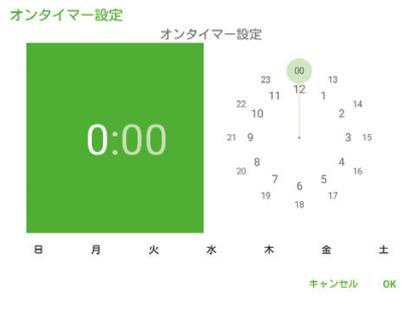
← 電源オン/オフ



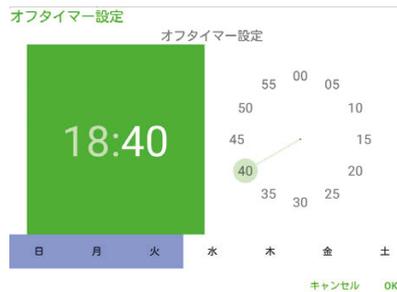
「自動電源オン/オフ設定」をクリックすると、「自動電源オン」および「自動電源オフ」の時刻設定を行うことができます。



「オンタイマー設定」をクリックすると、自動的に起動する時間を設定することができます。



「オフタイマー設定」をクリックすると、自動的に電源をオフにする時間を設定することができます。



また、OPS 電源連動をオンにすると、本製品の電源をオンにする時に OPS の電源が連動してオンになります。

有線でネットワークに接続されていて、Wake on LAN をオンにすると、同じネットワーク内のパソコンなどから本製品の電源をオンにすることができます。

← 電源オン/オフ



5.6 スクリーンショット設定

設定画面より、スクリーンショット設定をクリックし、「スクリーンショットの定期削除」を選択すると、作成した日から、「1ヶ月」、「2ヶ月」、「3ヶ月」、「6ヶ月」、「12ヶ月」経過した時点で自動的にホワイトボードやキャプチャーした画面などのデータを削除することができます。



5.7 プリンター

「プリンター」をクリックすると、プリンターの設定を行うことができます。接続されているプリンターがリスト表示されます。「プリンターの追加」からプリンターの追加を行うことができます。



5.8 セキュリティ

設定画面より、セキュリティを選択すると、チャイルドロックや USB ポートの使用禁止などの設定を行うことができます。



チャイルドロック

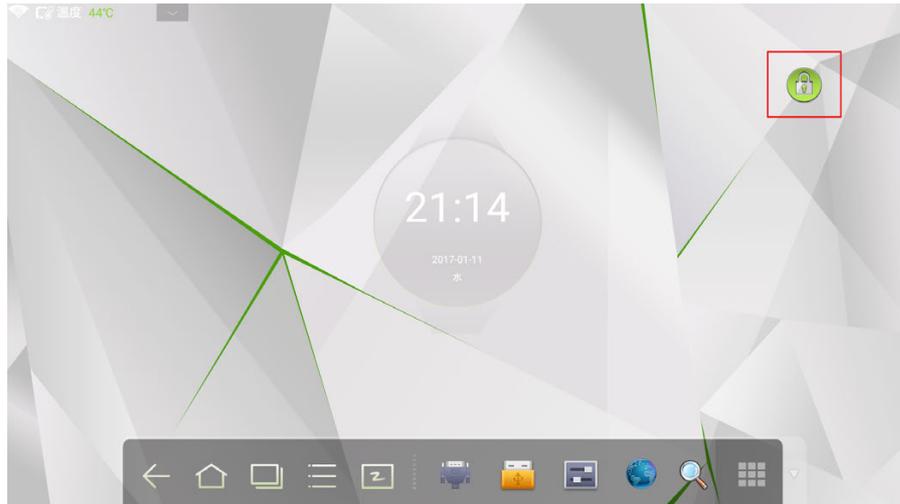
チャイルドロックは下記の3つの方法でオン/オフを行うことができます。

1. ツールバー上のアイコン  をクリックし、システム設定を表示します。セキュリティをクリックし、チャイルドロックをオンにします。



2. コントロールパネルのECO ボタンを5秒以上長押しするとチャイルドロックが起動します。再度5秒以上ECO ボタンを押すと解除できます。
3. リモコンのECO ボタンを5秒以上押しするとチャイルドロックが起動します。

チャイルドロックが起動している状態では、下図の通り、画面右上にロックのアイコンが表示されます。



USB ポートの使用を禁止する

下記の方法で Android 用の USB ポートの使用禁止を行うことができます。

1. ツールバー上のアイコン  をクリックし、システム設定を表示します。セキュリティをクリックし、「USB の使用を禁止する」をオンにします。



USB ポートの使用が禁止されている状態では、下図のアイコンが画面右上に表示されます。



USB ポートの使用を解除するにはパスワードの入力が必要となります。パスワードは「888888」です。尚、パスワードは変更することはできません。



5.9 アイプロテクション

設定画面より、「アイプロテクション」を選択すると、書き込み時の明るさ調整など、目の保護のための設定を行うことができます。



5.10 入力ソース設定

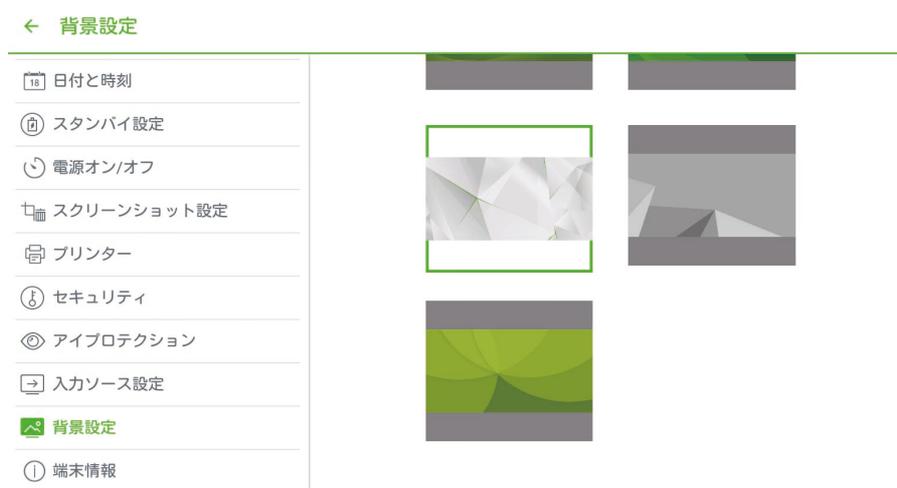
設定画面より入力ソース設定を選択すると、起動時の入力ソースなどの設定を行うことができます。



- 「前回使用した入力ソースに切り替える」を選択すると、起動前に前回使用時に最後に使用したソースに起動時に自動的に切り替わります。
- 「新規のソースに自動的に切り替える」を選択すると、新たにパソコンなどを本製品に接続した際に、自動的に新ソースに画面が切り替わります。
- 「起動時入力ソース」をクリックし、ソースを選択すると、起動時に指定したソースに自動的に切り替わります。
- 外部カメラを使用する入力ソースをOPSとAndroidから選択することができます。

5.11 背景設定

設定画面で背景設定を選択すると、ホーム画面の背景を選択することができます。



5.12 端末情報

設定画面から「端末情報」を選択すると、IP アドレスや MAC アドレスなどの情報が確認できるほか、システムを工場出荷時設定に戻す「初期化」を行うことができます。

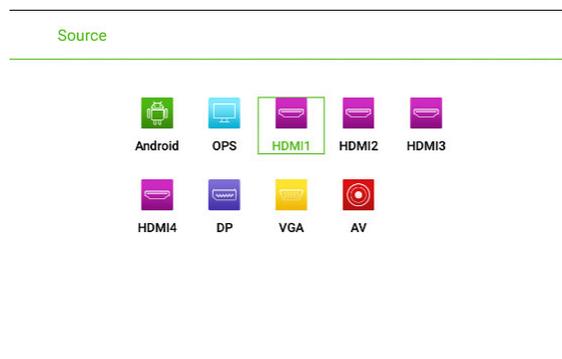


6 入力ソースの切り替え

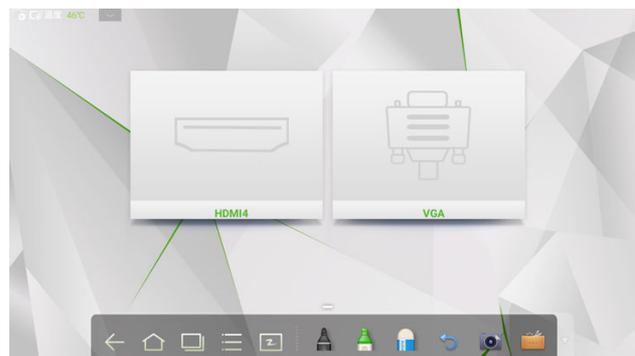
入力ソースの切り替えは以下の 4 つの方法で行うことができます。:

- リモコンの SOURCE を押して切り替える
- コントロールパネルの Source ボタンを押して切り替える
- メインページまたはホワイトボードモード時にアイコン  をクリックして選択ページに移動し切り替える。
- メインページ時にアイコン  をクリックし、プレビュー画面で移動して切り替える。
- 入力信号ページで▲/▼/◀/▶を押し、OK を押して切り替える。または、直接アイコンをクリックして下図の通り切り替える。

<選択ページ>



<プレビュー画面>



7 メニュー

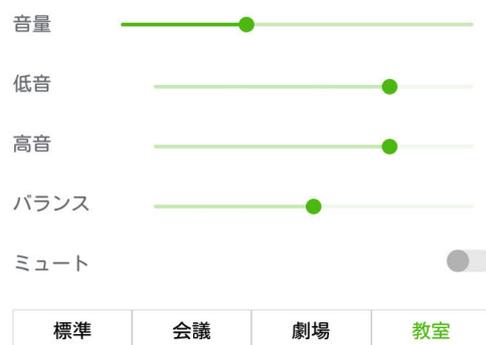
入力信号を切り替え後に、リモコンの MENU ボタンを押すと、サウンドモード、スクリーン設定、ディスプレイ設定などのメニューが表示されます。メニュー画面を左右にスクロール、または、リモコンの ◀ および ▶ の操作で設定項目の表示を切り替えることができます。

7.1 音声設定

音声設定では、音響効果を「標準」、「会議室」、「劇場」、「教室」からモードの選択などを行うことができます。

- 各調整項目のスライダーを直接タッチ操作するか、◀ および ▶ ボタンの操作で音量、音質の調整を行うことができます。
- 「ミュート」を押すと消音状態になります。
- リモコンやコントロールパネルの RETURN を押すとメニュー画面が終了します。

音声設定



7.2 画面設定

画面設定では画面の表示方法を「自動」「P2P」「16:9」「4:3」から選択することができます。

以下の2つの方法で設定を行うことができます。:

- アイコンをクリックしてオプションを選択する。
- ◀ および ▶ ボタンを押して選択し、OK を押して確定します。
- RETURN を押してメニューを終了します。

入力ソースにより、設定できない表示方法があります。

- OPS、HDMI 1-HDMI 4 および DP 入力信号時

画面設定



自動	P2P	16:9	4:3
----	-----	------	-----

- AV 入力信号時には「P2P」を選択することができません。

画面設定



自動	P2P	16:9	4:3
----	-----	------	-----

- VGA 入力信号時には「自動」を選択することができません。



7.3 画像設定

画像設定では、「標準」「明るい」「鮮明」「目の保護」からのモードの選択などを行うことができます。

以下の2つの方法で明るさなどの設定を行うことができます。:

- アイコンをクリックしてオプションを選択する。
- ◀ および ▶ ボタンを押して選択し、OK を押して確定します。
リモコンやコントロールパネルの RETURN を押してメニューを終了します。



8 その他機能

8.1 音声のみの出力

リモコンの「Audio Only」のボタンを押すと、スクリーンをオフにし、音声のみを出力させることができます。スクリーンを再度表示させるには、スクリーンをタッチするか、リモコンの「Audio Only」のボタンを再度押してください。

8.2 温度計および高温での自動シャットダウン機能

パネル温度計に関して

リアルタイムのパネル温度計がホーム画面の左上に表示されています。温度部分をタッチすると、摂氏（°C）と華氏（°F）で表示を切り替えることができます。

高温での自動シャットダウン機能

使用中にパネル全体の温度が通気環境や使用時間などにより設定した温度（80度）より上昇した場合、システムが検知をして内部回路の保護のためスタンバイモードに自動的に入ります。パネルの温度が低下するまで数分時間をおき、また、通気環境が問題の場合、通気環境を改善させてから復帰させてください。

9 エコモード



CAUTION

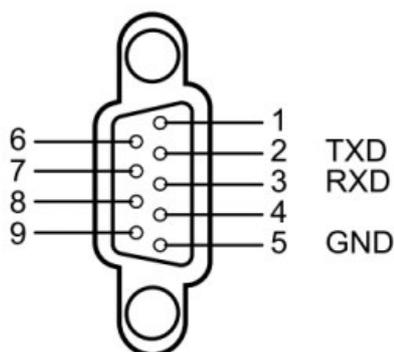
- 使用しないときは電源をオフにしてください。また、音楽のみを出力したいときには「音声出力モード」をオンにすることにより、消費電力を削減することができます。
- ディスプレイの明るさを抑えることにより、消費電力を大幅に抑えることができます。
- より消費電力を抑えるために、自動電源オフ機能が本製品には搭載されており、初期設定では10分後となっております。10分間何の操作も行われない場合、ディスプレイは自動的にスリープ状態（電源オフと同じ状態）になります。

リモコンの「ECO」ボタンを押してバックライトモードの設定を行ってください。「ECO」ボタンを押すたびに、「ECO」、「自動」、「標準」と順に切り替わります。

- 「ECO」モードでは出力が50%抑えられます。
- 「自動」モードでは周囲の明るさなどにより、ディスプレイの明るさが自動的に調整されます。周囲が明るい場合、ディスプレイは明るくなり、暗い場合、ディスプレイも暗くなります。
- 「標準」モードでは、ディスプレイの明るさは変わりません。

10 シリアルポートコントロール

本製品の RS-232 ポートは下図の通り定義されています。



RS-232 ポートをパソコンなどのコントロールデバイスに接続します。RS-232 シリアルポート接続を有効にして、下記の設定を行ってください。

ポート番号: COM 1 (パソコンなどのコントロールデバイスのポート番号に合わせて値をセットしてください。)			
Bit rate	19200	Odd/even check	None
Data bit	8	Stop bit	1

下記の表はボタンのコントロールコードです。リモコンのボタンと同じ機能となります。

機能	コントロールコード	機能	コントロールコード
Power on	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 00 CF	1	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 21 CF

機能	コントロールコード	機能	コントロールコード
Power off	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 01 CF	2	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 22 CF
Mute	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 02 CF	3	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 23 CF
Sound mode	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 05 CF	4	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 24 CF
Signal source	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 06 CF	5	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 25 CF
ATV	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 08 CF	6	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 26 CF
Display status	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 09 CF	7	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 27 CF
HDMI 1	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0A CF	8	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 28 CF
HDMI 2	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0B CF	9	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 29 CF
HDMI 3	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0C CF	0	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2A CF
OPS (HDMI 4)	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 38 CF	OK	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 2B CF
PC 1	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0D CF	←	7F 08 99 A2 B3 C4 02 ff 01 2C CF
DTV	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 0F CF	→	7F 08 99 A2 B3 C4 02 ff 01 2D CF
YPbPr	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 10 CF	↑	7F 08 99 A2 B3 C4 02 ff 01 2E CF
Video 1	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 11 CF	↓	7F 08 99 A2 B3 C4 02 ff 01 2F CF
Up	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 13 CF	Channel +	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1A CF
Down	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 14 CF	Menu	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1B CF
Listen Alone	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 15 CF	Home Page	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1C CF

機能	コントロールコード	機能	コントロールコード
ECO	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 16 CF	Return (Exit)	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1D CF
VOL -	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 17 CF	Capture	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 1F CF
VOL +	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 18 CF	Auto ADJ	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 20 CF
Channel -	7F 08 99 A2 B3 C4 02 FF 01 19 CF	-	-

11 VGA 信号入力

VGA (Video Graphics Array) はパソコン用ディスプレイのデータ入力用アナログ信号の標準規格です。下記の表は様々な VGA 信号入力の仕様となります。



NOTE

VGA の信号入力は製品が PC モードの時のみ使用可能となります。

SN	スタンダード	解像度	リフレッシュレート (Hz)	水平走査周波数帯 (KHz)	垂直走査周波数帯 (Hz)	TTL
1	VESA	640x480	60	31.5	60	N/N
2	VESA	640x480	72	37.9	72	N/N
3	VESA	640x480	75	37.5	75	N/N
4	VESA	800x600	56	35.1	56	P/P
5	VESA	800x600	60	37.9	60	P/P
6	VESA	800x600	72	48.1	72	P/P
7	VESA	800x600	75	46.9	75	P/P
8	VESA	1024x768	60	48.4	60	N/N
9	VESA	1024x768	70	56.5	70	N/N
10	VESA	1024x768	75	60	75	N/N
11	VESA	1280x960	60	60	60	N/N
12	VESA	1280x960	75	75.159	75	N/N
13	VESA	1280x1024	60	64	60	P/P
14	VESA	1280x1024	75	80	75	P/P
15	VESA	1600x1200	60	75	60	P/P
16	VESA	1920x1080	60	66.547	59.988	P/P

12 対応ファイル形式

種類	ファイル形式	ファイル拡張子
画像	JPEG/BMP/PNG	.jpg/.bmp/.png
動画	MPEG1/MPEG2/MPEG4/H.264/H.265・RM/RMVB/MOV/MJPEG/VC1/Divx/FLV (1080P/4K HD デコーディングに対応)	.avi/mpg/.dat/.vob/.div/.mov/.mkv/.rm/.rmvb/.mp4/.ts/.trp/.asf/.flv
音楽	MP3/M4A/(AAC)	.mp3/.m4a
テキスト	TXT	.txt

13 よくあるご質問

症状	主な原因	解決方法
プログラムに接続できない。	ドライブプログラムが正しくインストールされていない可能性があります。	プログラムをインストールしなおしてください。
	USB ポートに正しく接続されていない、または USB ケーブルが断線している可能性があります。	USB ケーブルを交換して USB ポートに問題がないか確認してください。
	赤外線センサー部に遮蔽物がある。	赤外線センサー部分に遮蔽物がある場合、取り除いてください。
電源を入れるたびにキャリブレーションが必要。	パソコンにリカバリーカードが挿入されている可能性があります。	パソコンのプロテクトを解除して再度キャリブレーションを行ってください。
カーソルの位置がずれている。	キャリブレーションが正しく行われていない可能性があります。	リモコンの「Auto」ボタンを押してフルスクリーン表示にしてから付属のペンを使用してキャリブレーションを再度行ってください。
ペンを使用している時にカーソルの位置が不安定。	正しく書き込みを行われていない可能性があります。	書き込みの際には指ではなくペンのご使用を推奨しております。できるだけペンの先端部に近い部分を持ち、パネルに対するペンの角度を60度以上にして書き込みを行い、書き込み中に袖や手首が画面に当たらないようにしてください。
	強力な光や赤外線が干渉している可能性があります。	干渉している光源を取り除くか、使用する環境を変えてください。

症状	主な原因	解決方法
手書き入力が途切れることがある。	正しく書き込みを行われていない可能性があります。	書き込みの際には指ではなくペンのご使用を推奨しております。できるだけペンの先端部に近い部分を持ち、パネルに対するペンの角度を60度以上にして書き込みを行い、書き込み中に袖や手首が画面に当たらないようにしてください。
	使用しているペン先がの材質が仕様を満たしていない、またはペン先の径が小さすぎる。	ペン先を変更する、または、指を使用して手書き機能に問題がないか確認してください。
	赤外線センサー部に遮蔽物がある。	赤外線センサー一部分に遮蔽物がある場合、取り除いてください。
	強力な光や赤外線が干渉している可能性があります。	干渉している光源を取り除くか、使用する環境を変えてください。
手書き入力できない。	入力しているペンの色が背景色と同色の可能性があります。	ペンの色を変更してください。
	手など、ペン以外のものがディスプレイに触れている可能性があります。	書き込みの際には指ではなくペンのご使用を推奨しております。できるだけペンの先端部に近い部分を持ち、パネルに対するペンの角度を60度以上にして書き込みを行い、書き込み中に袖や手首が画面に当たらないようにしてください。
	強力な光や赤外線が干渉している可能性があります。	干渉している光源を取り除くか、使用する環境を変えてください。
	正しく書き込みを行われていない可能性があります。	書き込みの際には指ではなくペンのご使用を推奨しております。できるだけペンの先端部に近い部分を持ち、パネルに対するペンの角度を60度以上にして書き込みを行い、書き込み中に袖や手首が画面に当たらないようにしてください。

症状	主な原因	解決方法
音声も映像も出力されない。	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブルが本体及びコンセントに正しく接続されているか、電源スイッチがオンになっているか確認してください。 本体背面の主電源スイッチがオンになっているか確認してください。 本体正面コントロールパネルの電源スイッチがオンになっているか確認してください。 外部機器との接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 入力ソースが正しいものを選択されているか下記人してください。 明るさやコントラスト比の設定が正しくされているか確認してください。 音量が小さくなっていないかまたはミュートになっていないか確認してください。 	
映像は出力されているが、音声が出力されない。	<ul style="list-style-type: none"> 音量が小さくなっていないか確認してください。 リモコンの「Mute」ボタンが押されていないか確認してください。 音声ケーブルなどが正しく接続されているか確認してください。 	
映像が出力されない、または白黒で出力される。	<ul style="list-style-type: none"> 色の設定に問題がないかご確認ください。 カラーシステムに問題がないかご確認ください。 	
イメージや映像にノイズが入る。	<ul style="list-style-type: none"> 周りに電磁干渉を起こす可能性のある電子機器がないかご確認ください。ある場合はどちらかの機器の場所を移動するなどの処置を行ってください。 電磁干渉を起こす可能性のある機器と使用するコンセントを離してください。 	
リモコンでの操作ができない。	<ul style="list-style-type: none"> 電池を交換してください。 リモコン上部にある信号を発信する部分に汚れがないか確認してください。 電池接点部分に汚れがないかを確認してください。 	
OPS が起動できない。 (OPS 内蔵モデルのみ)	<ul style="list-style-type: none"> OPS が本体に正しく接続されているか確認してください。 OPS の電源がオフになっていないか確認してください。 	

以下の症状は故障ではありません。:

- タッチスクリーンは非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。また、見る角度によっては色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありません。

- バックライトの調整時や通気時に小さな音が発生する場合がございますが、故障ではありません。
- LCD や背面のカバーを触れた際に静電気を感じる場合がございますが、故障ではありません。

14 お手入れとメンテナンス

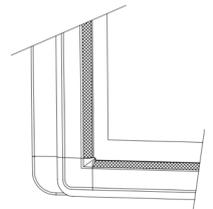
メンテナンスに関して

- 製品を直射日光が当たる場所などの高温多湿の場所へ設置しないでください。また、埃の多い場所、振動が発生する場所、ものがぶつかる可能性のある場所などへの設置もしないでください。パフォーマンスを最大限にするために、柵、大きな金属製の物体、レーダーステーションなどから避けて製品を設置してください。
- 化学薬品などを使用して製品を拭かないでください。溶液が本体や塗料にダメージを与えることがあります。もしパネルに汚れが付着している場合、電源を切り、温水で軽く湿らせた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。パネル部分は清潔で柔らかい布を使用して軽く拭いてください。
- 頻繁に電源のオン、オフを繰り返さないでください。製品寿命を縮める可能性があります。パネルの電源を切った後に再び電源を投入する前に3分以上の間隔をあけてください。長期間に渡り製品を使用しない場合は、主電源を切り、コンセントから電源コードを外してください。
- LCDの輝度やコントラストを最大にしたまま長期間のご使用は製品の寿命を縮める可能性があります。
- 硬い物体でタッチ操作を行わないでください。パネル表面に傷がつく恐れがあります。

赤外線センサーのクリーニング

本製品は垂直/水平の赤外線マトリックス方式を採用しており、パネル部は赤外線センサー（赤外線受信部と送信部を含む）で覆われており、スクリーン表面上に赤外線の網を形成してタッチ操作の位置を検出しています。スクリーンをタッチした時に指やペンなどが垂直方向及び水平方向にクロスして赤外線を遮る部分をタッチ位置として検出しています。

長期間外気に触れていると、スクリーン表面に埃が付きやすくなり、それによりタッチ操作が不安定になったり、不正確な位置検出を行う場合があります。赤外線センサー部は定期的にクリーニングを行ってください。



15 製品仕様

項目	TT-6516UB	TT-7516UB
バックライト	LED	LED
アスペクト比	16:9	16:9
解像度	3840x2160 ピクセル (4K)	3840x2160 ピクセル (4K)
視野角	178°	178°
表示色	10bit	10bit
輝度	370cd/m ²	370cd/m ²
コントラスト比 (Typical)	4000:1	4000:1
応答速度 (Typical)	8ms	8ms
寿命	約 30,000 時間	約 30,000 時間
商品電力	最大 < 220W スタンバイモード ≤ 0.5W	最大 < 350W スタンバイモード ≤ 0.5W
電源	AC 100V-240V、50Hz/60Hz	AC 100V-240V、50Hz/60Hz
定格入力	最大 2.5A	最大 4.0A
パネル表面材質	強化ガラス	強化ガラス
パネル表面処理	アンチグレア	アンチグレア
透明度	> 88%	> 88%
タッチセンサー	赤外線遮断方式	赤外線遮断方式
マルチタッチ	Windows: 10 ポイントマルチタッチ / Android: 5 ポイントマルチタッチ (3 ポイント同時書き込み、5 ポイントで消しゴム機能)	Windows: 10 ポイントマルチタッチ / Android: 5 ポイントマルチタッチ (3 ポイント同時書き込み、5 ポイントで消しゴム機能)

項目	TT-6516UB	TT-7516UB
入力方法	指または付属ペン	指または付属ペン
カーソルスピード	100Point/s	100Point/s
入力精度	5mm	5mm
インターフェイス	USB-B	USB-B
USB ケーブル長	5m まで通信可能	5m まで通信可能
スピーカー位置	前面	前面
スピーカーインピーダンス	8Ω	8Ω
スピーカー再生周波数帯	90Hz (±20%) - 18kHz	90Hz (±20%) - 18kHz
スピーカー最大出力	15 W*2	15 W*2
保管温度/湿度	-10°C - 50°C, 10% - 90%	-10°C - 50°C, 10% - 90%
動作温度/湿度	0°C - 40°C, 10% - 90%	0°C - 40°C, 10% - 90%
マウント	壁掛け/スタンド (別売り)	壁掛け/スタンド (別売り)

- 製品仕様は予告なしに変更になる場合がございます。

16 最新の情報に関しては

Newline 製のその他製品に関する情報や、最新の情報に関しては、弊社ホームページをご確認ください。

URL: www.newline-interactive.com